



県庁で行われた立地協定式。(中央が)④淀川ヒューテック㈱の小川社長、⑤㈱スリーダインの萩平社長、⑥㈱JCUの木村社長

半導体産業を共に支える

半導体関連企業3社と立地協定締結

町は、くまもと臨空テクノパークに進出予定の3社と立地協定を締結しました。

11月28日、県を立会人として、フッ素樹脂加工を主とした製品を製造する淀川ヒューテック㈱(大阪府)との協定を締結。小川克己社長は、「熊本県と益城町の経済発展、雇用創出に貢献したい」と述べました。

同社は半導体用の樹脂製品などを製造するための工場を建設予定です。

12月5日、県と共同で、半導体製造装置向けのプラスチック加工や半導体洗浄装置の製造を行う㈱スリーダイン(八代市)との協定を締結。萩平浩二社長は、「半導体市場の需要増加に対応していく。2030年には従業員を100人体制まで拡大していきたい」と述べました。

同社は半導体洗浄装置や付帯設備の量産拠点となる工場を建設予定です。

12月12日、県を立会人として、半導体関連の薬品の製造を行う㈱JCU(東京都)との協定を締結。木村昌志社長は、「半導体関連産業の集積が進む熊本への進出を機に、次世代半導体分野向け薬品の研究開発にも更に力を入れていきたい。当地に根差した企業として、期待に応えられる会社作りに努めていく」と述べました。

同社は半導体関連部品のメッキ処理に使う研究棟や工場棟、倉庫棟の建設を予定しています。

町の芸術・文化が彩る祭典

第32回益城町文化祭

12月2日、3日の2日間にわたり、第32回益城町文化祭が町文化会館で開催されました。

町の芸術と文化の祭典であるこの文化祭には、ステージ部門・27団体、展示部門・10団体が参加しました。

展示部門には、絵画、水墨画、書、陶芸、華道などの力作がずらりと並び、併せて茶道の体験ブースが設置されるなど充実した内容となっていました。

ステージ部門では、日舞、民謡、太鼓、箏演奏、ダンスなどさまざまな演目が発表され、町内団体の芸術文化・生涯学習活動の成果が惜しみなく披露されました。

また、民族楽器のバンド・KARMANの特別ライブもあり、観客はその独特の音楽に聞き入っていました。

写真/1 2 多彩な展示物 3 4 ダンス・民謡など幅広い演目 5 6 がまだしもんで紹介した川上愛子さん・葉山悠介さんのパフォーマンス 7 KARMANの馬頭琴・パウロンによる演奏

